

数学オリンピック財団より 25

公益財団法人数学オリンピック財団
理事長 森田康夫

数学オリンピックの本年度の国際大会が終了し、日本代表選手の成績が出揃いました。

3月に行われたアジア太平洋数学オリンピック (APMO) と、4月に行われたヨーロッパ女子数学オリンピック (EGMO) の結果は、「数学通信」第23巻第1号でお知らせしましたので、以下はその後の分です。

第59回の国際数学オリンピック大会 (International Mathematical Olympiad : IMO) は、7月3日から14日まで、ルーマニア (Romania) のクルージュナポカ (Cluj-Napoca) で開催されました。

参加各国の団長たちは7月4日までにルーマニア入りして大会の準備を行い、選手たちは7日に到着、翌8日に開会式が行われ、コンテストは9日と10日に行われました。

IMO での成績は以下の通りです：

黒田直樹 (灘高等学校 3年) 金メダル
清原大慈 (筑波大学附属駒場高等学校 3年) 銀メダル
新居智将 (開成高等学校 3年) 銀メダル
馬杉和貴 (洛南高等学校 1年) 銀メダル
西川寛人 (愛知県立明和高等学校 3年) 銅メダル
渡辺直希 (広島大学附属高等学校 1年) 銅メダル

参加した国・地域は 107 で、参加選手は 594 名 (男子 534 名、女子 60 名) でした。金メダルは 48 名、銀メダルは 98 名、銅メダルは 143 名でした。なお、黒田直樹君は全体の順位が 6 位、2年連続の金メダルでした。

国別順位は、以下の通りでした：

1.アメリカ 2.ロシア 3.中国 4.ウクライナ 5.タイ 6.台湾 7.韓国
8.シンガポール 9.ポーランド 10.インドネシア 11.オーストラリア
12.イギリス 13.日本・セルビア 15.ハンガリー 16.カナダ 17.イタリア
18.カザフスタン 19.イラン 20.ベトナム

来年はイギリスの Bath で7月11日～22日に開催される予定です。

なお、数学オリンピック財団の理事長が 2018 年 6 月より鈴木晋一から森田康夫に替り、森田と藤田岳彦専務理事・守屋悦朗常務理事が中心となって財団を運営しています。

また、ルーマニアで開かれた IMO の理事会 (IMO board) で、2023 年に日本で国際数学オリンピック大会を行うことが決まりました。そのため数学オリンピック財団では、本年 9 月に藤田専務理事を委員長とする実行委員会を立ち上げ、準備を行っています。2023 年の IMO 開催時にはお世話になるかと思いますが、よろしくお願ひ申し上げます。